むし

東村山むさしの第二認定こども園

とうきょうすくわくプログラム

活動実績報告書

テーマを設定する

- 広大な園庭には多くの木々が植えられ、さらにビオトープができた当園にはたくさんの虫たちがやってくる。
カマキリなどの大きな虫からダンゴムシのような小さな虫まで。
こどもたちはめずらしい虫をみつけると、その虫を取り囲んで観察している。
- 今回はまず園内でできるだけ多くの虫を見つけ、こどもたちはどんな虫に興味があるのかを把握する。
その後、数種類の虫にターゲットを絞り、観察を通してさまざまな問いかけをしていきたいと考え、このテーマとした。

活動スケジュール

	活動内容	時間／回	人数／回	ねらい
①	むしをつかまえよう！	30分	24人	園庭やビオトープで虫を採集する
②	むしをかんさつ・しらべてみよう！	30分	24人	採集した虫を観察また図鑑などで調べる。
③	むしになってみよう		24人	発表会でむしを演じてみる

① むしをみつけよう！

- **環境をデザインする**

  ・虫を入れておくケース

  ・虫を捕獲するための道具、トラップの準備（トラップは事前準備が必要）

  ⇒虫取り網、バグキャッチャー、バナナトラップなどの各種トラップ

  ・カメラ、スマホ（記録用）

- **探究活動を実践する**

  ・活動内容

  園庭やビオトープ、近隣の降園で様々な方法、トラップを用いて虫を採集する。

  →どうやったら捕れるか？なぜこのトラップで捕まえられたのか？

① むしをみつけよう！

- 活動中の様子

6月、むしの採集を始めました。
園庭や近くの公園でまずは
自分たちの力で探してみます。
むしが苦手で手で触れない子も
バグキャッチャーでチャレンジ！

① むしをみつけよう！

- 活動中の様子

7月、園内のビオトープや園庭の
植物が生い茂ってきてむしたちも
たくさん見かけるようになりました！
草や水の中まで目を凝らして探しています。
なにか見つけたようですよ！

① むしをみつけよう！

- 活動中の様子

8月、虫捕り網やトラップも準備して
多くのむしを捕まえにかかります。
この時期は大きなむしにも期待！
どんなむしが捕れるか楽しみです！

① むしをみつけよう！

▶ 活動中の様子

9月～10月、まだまだ暑さは残るが
秋の気配も漂うこの季節。
虫捕りも継続して続けます。
これまでとは違った種類のむしたちを
見つけることはできたのでしょうか！？

②むしをかんさつしよう！

- **環境をデザインする**

・捕まえた虫、カブトムシ（園長先生が飼育している生体）

→捕まえた虫で飼育できるものはケースで、飼育できないものはその場で観察。

・カメラ、スマホ（記録用）

- **探究活動を実践する**

・活動内容

前回捕まえた虫をクラスに持ち帰り観察する。

→虫の身体の細部はどのようになっているか？また、それがどのような

役割をはたしているのか考察する。

②むしをかんさつしよう！

- 活動中の様子

園長先生が育てているカブトムシ。
日本の昆虫の王様だけあって
こども達にも大人気！
毎日虫かごから出して動く様子をじっくりと観察したり手に持ったりと熱心な様子でした。

②むしをかんさつしよう！

- 活動中の様子

むし（成虫）を捕まえるのは難しいけど、幼虫は動きも遅いので簡単に比較的簡単に捕まえられるんです。
ちょっと趣旨からは逸れますが、セミの抜け殻もたくさん見つけました。
園庭では毎日セミの抜け殻の宝探しでした！

②むしをかんさつしよう！

- **活動中の様子**

園庭で"蛾"の幼虫を見つけました。
図鑑を見ながら、どんな蛾の幼虫なのか調べています。
同じ形や色の幼虫がいないかみんなで話し合いながら図鑑を見ていました。友だちの意見も聞く良い経験になっていました。

②むしをかんさつしよう！

- 活動中の様子

見つけたむしたちを観察しながら、また思い出しながら絵に描いてまとめました。公園や園庭に「こんな虫もいたよね」とみんなで楽しく絵を描いていました。
大きな紙にみんなの描いた絵を貼り付け、完成すると達成感を感じている様子でした。

③むしになってみよう！

- 活動中の様子

発表会ではみんなで話し合って“むし”を演じてみることに決めました。
自分がなりたいむしを選んで、衣装もバッチリ！
クワガタ・ちょうちょ・かまきり・あり・てんとう虫に変身しました。

③むしになってみよう！

- 活動中の様子

生活発表会～虫の世界へようこそ～
＜内容＞
公園に散歩に出掛けて虫採りをしているところにクモの巣に引っ掛かっているちょうちょを発見！助けてあげるとちょうちょの妖精さんから虫の世界に招待してもらい楽しいパーティーをする・・・というストーリーでみんななりきって楽しんでいました。

振り返る・共有する

- もともと虫への関心の強い子が多いクラスだったが、子ども達自身で見つけた虫の種類を図鑑を出して調べたり、友だち同士での情報を共有しながら話し合ったりする姿がました。
- 戸外活動でもポケット図鑑を用意したことで探究心も増した。
- 虫捕りをして実際に出会った昆虫の絵を描いて振り返ったことで、いろいろな昆虫に出会えたことが可視化され、園庭の環境や園周辺が昆虫に触れる機会の多い恵まれた環境だということに気付いた。
- 年間を通して虫についての活動をしていったことで行事の導入にもつながった。子ども達自身でストーリーの内容を考えたり、役の決定も一緒に考えたりと、子ども達主体の生活発表会の実施の実現ができた。
- 虫トラップの活動では自分たちが考えたことを実践してみる楽しさを味わうことができた。
- カブトムシやクワガタ、コオロギ、バッタ、ちょうちょに触れることで、昆虫の身体のつくりをじっくりと観察したり、動きの特徴に気付いたり、本物でしか感じられない体験ができた。生き物の命がなくなる経験もして、お墓を作ってあげたりした。命には限りがあることを子どもたちなりに感じていた。